

■米国：トランプ政権がキーストーン XL パイプラインの建設を許可

2017年3月24日付の報道によると、トランプ政権は、カナダのエネルギー企業トランスカナダ社に対し、カナダからメキシコ湾に原油を運ぶためのパイプライン「キーストーン XL パイプライン」の建設計画を承認した。本パイプライン計画は、オバマ前大統領が、環境への悪影響などを理由に2015年に承認を却下していた。しかし、2017年1月24日にトランプ大統領が大統領覚書（Presidential Memorandum）に署名し、国務省に審査の実施を指示した。その結果、3月24日、正式に建設計画が承認された。トランプ大統領は、景気の拡大や雇用増が見込めるとして、承認を公約していた。本承認を受け、カナダの天然資源省は、「カナダ政府はキーストーン XL パイプラインを支持している。米国の本決定に満足している」とコメントを発表した。しかし、今後、建設に向けたトランスカナダの資金調達が必要であることに加え、環境保護団体等からの訴訟に直面する可能性もある。